



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

3年ぶりに日音協セミナー開催 若い会員の交流会は5月に開催予定

2月11日(土)〜12日(日)、東京都小平市・学園坂スタジオで、3年ぶりに日音協セミナーを開催しました。
なお、例年同時開催していた「若い会員の交流会」は、5月13日(土)〜14日(日)、さいたま市で



アンサンブル
発表曲「イムジン河」

講師・ピアノ伴奏 小笠原もずくさん

予定しています。

セミナーは、ワークショップ(W S)として「うたう」と「つくる」に分かれてすすめられました。

WS「うたう」は、事前に各自チャレンジしたい曲目なり獲得目標を提出したのですが、講師の小笠原もずくさんからは、「皆さんの意気込みは強く感じる。が、8人(当初は9人)のボイストレーニングなどを考えると、消化不良の内容になってしまふ」ので変更となりました。

課題曲は5曲(「グリーンズリーブス」「オーシャンゼリゼ」「アメイジング・グレイス」「アリラン」「イムジン河」)を選んでもらい、受講者がソロで歌ったり(転調してキィを合わせてもらったり)、アンサンブル(みんな)で歌ったりしながら、それぞれアドバイスをいただきました。



小笠原もずくさん



2023セミナー「つくる」ワークショップ 成果発表

メンバー
リーダー・Perc 後藤雅裕・Vo 坂口美日・Vo.Gt 松本敏之・Gt 上村一郎・Hea 塚本昇

創作曲「いいね👍」

今回で受講した谷森駿さんの「作曲の様々なアプローチ」では、「言いたいこと、すべて言ってもいいの。言葉を選ぶ。書き過ぎてダメ」とか「様々な拍子」について話していただきました。

WS「つくる」は、5拍子の歌を創ってみようとなり(沈黙の時間も長かったようですが)、「いいね」という歌を創り、楽器を駆使して演奏しました。

なお、スマホで録画もしましたが、まだそれぞれ自信もないので、限定公開としています。

長岡音楽祭のHPを開設

第54回はたらくものの音楽祭のホームページをつくりました。出演者や参加者の募集、とりわけオープニング合唱(新潟県実行委員会)の参加者募集に活用するとともに、長岡市ヤリリックホールについて情報提供していきたいと思ひます。

<http://nichionkyou.org/ongakusai/index.html>

※新潟県実行委員会では精力的に各組合まわり等しながら、着々と準備を進めています。右QRコードでも情報を得られますので活用してください。



- 2023日音協セミナー参加者
- 佐藤康弘(青森) うたう
 - 後藤雅裕(秋田) つくる
 - 松本敏之(茨城) つくる
 - 根本賢治(千葉) うたう
 - 高野直美(新潟) うたう
 - 森理子(東京) うたう
 - 狭石啓子(東京) うたう
 - 船山恵子(東京) うたう
 - 船山弘明(東京) うたう
 - 加本和美(東京) うたう
 - 坂口美日(東京) つくる
 - 塚本昇(長野) つくる
 - 上村一郎(長野) つくる
- なお、田中珠萌(東京・うたう)さんは急きょ欠席となりました。
- コロナ感染に気をつけながらの開催でしたが、皆さん、今後とも精進しましょう。(佐藤)

第54回はたらくものの音楽祭に結集しよう

2023 Nichionkyo Seminar Concert

2023.02.11 Gakuenzaka Studio

第1部 セミナー オープン コンサート

- MASAHIRO GOTO
線ひきやっこ／うたごえ峠
- 高野直美&狭石啓子
風／フクシマをくり返すな
- 森理子
道德／ぼくとオキナワ／今日からは
岸田のハラ（野ばらの替歌）加本さんと
- Piggies
SENSOU
声よ集まれ歌となれ
- ローカル線
平林すとりーと
クロマニオンが笑ってる

磨きがかかった上村さん⇒



沢さん

小笠原さん

谷森さん

第2部 谷森駿さん&小笠原もずくさん コンサート (右写真)



知人や高校生にも案内して開催

新月灯花

12年目の
3・11に歌う

NO Nukes Fukushima

主催：3・11 原発事故は終わらないライブ実行委員会
HP <https://nonukesfukushima.wixsite.com/no-nukes>

3月11日(土)
開場 15時半 / 開演 16時
会場 Kouriyama#9 (シャープナイン)
郡山市大町1丁目4-15 (郡山駅徒歩5分)
TEL: 024-973-5242 (チケット予約できます)
入場料 2,000円 + ドリンク代 600円 (当日券あり)
電子チケット購入はこちらから▶
<https://t.livepocket.jp/e/pfmg>

カンパ協力もお願いしています。
詳細は裏面をご覧ください

問合せ先：ホームページ問合せから or 090-7945-6400 (坂口)

佐藤 G W A N 博

いのとひら・のとこほ

県内からの出演者

- ◆ VJkin & 日音協福島県支部 (16時～)
- ◆ 郡山駅前行動の皆さん (19時半～)

富山県支部第49回総会開催 コロナ禍で意外な反応

日音協富山県支部第49回定期総会を2月15日(水)午後6時30分より富山市・自治労とやま会館において、代議員(出席7+委任7/14)、役員(9/11)の16人の出席、平井義信事務局次長の進行で開催しました。

総会は、この2年新型コロナで歌での開会できませんでしたが、今回はこの間歌い続けてきた「ねがい」を歌って開会し、鴨野会長の挨拶で総会に入りました。

当日は、来賓としてご出席いただいた日本音楽協議会松本敏之会長と三善康教富山県平和運動センター議長代理から連帯と激励のご挨拶をいただきました。

また、連合富山と社民党富山県連合会からのメッセージを読み上げて紹介しました。

議事は、2022年度活動経過報告・総括や会計決算報告・監査報告、2023年度方針(案)・予算(案)を一括提案し、質疑討論しました。

発言として、「コロナ禍でラインを活用し歌を発信するようになり、思いがけないところからの反応があり良い驚きを感じている」「地域の演奏活動などにかかわって、若い人たちも来ており、日音協ももっと足を運んで演奏すべきだと思う」、また50年以上活動している「ししの子」からは3年ぶりに開催した「第40回うたのひろば」のことやアコーディオン研究会からは「地元などから演奏の要請があり練習の励みになっている。3月にコンサートも予定」など4人の方から活動にかかわった想いや「県支部結成50年行事」の取り組みについての意見がありました。

主な活動である「第54回音楽祭(新潟県・長岡市開催)」や積極的に演奏活動を進めるなどの方針、新年度役員体制も含め議事のすべてが承認され、新任の布瀬会計監査からの挨拶と篠島副会長の閉会挨拶で総会を終了しました。新年度役員は下記のとおりです。(磯野友一)

【2023年度役員体制】

会長	鴨野 浩一 (自治労)
副会長	相澤 誠 (県教組) 新
〃	篠島 良幸 (農協労)
事務局長	磯野 友一 (自治労)
事務局次長	大門 悟 (ししの子)
〃	中田 信男 (ししの子)
〃	屋敷 正人 (CAM)
〃	平井 義信 (CAM)
〃	加藤 葉子 (CAM)
会計監査	久保田 誠 (富山地鉄労組)
〃	布瀬 護 (県教組) 新



歌い続ける富山県支部

2月11日(祝・土)、「9条を守り憲法をいかに富山県民の会」第19回定期総会が、自治労とやま会館において開催されました。

日音協富山県支部は、開会前段に、「決意」「うたおう命の歌を」「私は忘れない」「ねがい」を歌いました。

なお、2月20日(月)、「大軍拡・大増税やめろ!富山県集会」があります。(下に報告記事)

また、3月11日(土)は「さようなら原発3・11富山県集会」で歌う予定です。(磯野友一)



第49回富山県支部総会



2月20日(月)18時から富山駅前 CiC 前広場において「大軍拡・大増税やめろ!富山県民集会」が県平和運動センターなどの実行委員会主催で開催されました。

県支部として演奏が予定されていましたが天候が心配でした。案の定、当日は雨から雪が降る悪天候になり、残念ながら演奏は中止となりました。

でも、「何とか歌いたい」と思い、ギター伴奏をお願いしてビルの軒先を借りて雨雪をしのぎながら、「ねがい」など定番の曲を歌いました。(加藤葉子)

はたらくものの音楽祭ステージあれこれ話

第5弾 《音楽祭の裏方って何やってるの?》

はたらくものの音楽祭(以降、「音楽祭」に略)当日、ステージ周辺ではなにやらバタバタと忙しぶったり時に声を荒げたりしている、裏方と呼ばれる面々。いったいこの人たちはどんな任務で何をやっているのか、知られているようで知られていないのかも知れないという憶測から、第5弾は音楽祭の裏方の話です。

①演出〈音楽祭最高責任者〉

どのような音楽祭にしたいか意見を集約し、音楽祭に関わる全てに責任を持つ立場で進めていきます。出演順、プログラム作成も演出の任務となっています。

音楽祭の幕があがるときには、演出は客席からステージと会場全体に気を配りながら進行を見守りながら、必要に応じ各担当者に指示を送っています。

②司会責任者〈司会関わる全般の責任者〉

音楽祭を地方持ち回りで開催するようになって以降、なるべく開催現地で司会を担っていただくようにしてきましたので、「音楽祭」はもちろん「日本音楽協議会」の名前すら知らなかった、という方が引き受けてくださる場合も少なからずです。ということで、司会担当は、出演者から送られてきた司会原稿を元に司会台本を作成し、司会を引き受けてくださる方に早めに郵送するなど、事前の準備と、音楽祭当日は開幕直前まで読み合わせに付き合ひ、開催中も司会の傍につきっきりとなって、安心して司会をしていただけるようにサポートしています。

③舞台監督〈ステージスタッフ、音響、照明などのステージ全般の責任者〉

舞台配置図を作成し、出演者から提出された舞台配置図を精査し、必要に応じ提出者と直接やりとりしながら、できるだけ当日の演奏に近い舞台配置図の完成を目指し、関係者との共有化を計ります。音楽祭当日は、前日からの舞台設営、リハーサル、本番、片付けまで、ステージに関わる全てに責任を持ちます。(昨年はステージ上のコロナ感染拡大防止対策も重要な舞台監督の任務でした)

④ステージスタッフ〈ステージでの演奏に必要な道具やの音響機器の出し入れ、接続を担当〉

2013年から日音協セミナーで「ステージスタッフ講座」を設けたことを受け、以降、そのセミナー受講者を中心に音楽祭でのステージスタッフを担っていただくようになりました。マイク出し、アンプ、DIの接続、演奏中のトラブル対応等々、専門的な知識と経験を積んだステージスタッフの瞬時の判断や動きに支えられて、短い演奏時間で多くの演奏団体が出入りする音楽祭は進行しているのです。その年によって、現地実行委員から数人出ていただくこともあります。

⑤音響(PA)担当〈ステージ上での音響機器を使用する演奏の音全般を担当〉

音楽祭本番のマイクやアンプを使用する演奏がスピーカーから流れるまでの音響機器の操作を担っていただいています。良質で聴きやすい音をスピーカーから会場に流すために、一瞬たりとも気が抜けません。また、音楽祭前日からの音響機器の仕込みと終了後の撤収まで責任を持ちます。(5面に続く)

都支部が定期総会開催 意欲的な発言が続く



1年間の活動と意欲を確認しあった都支部総会

2月26日、豊島区南大塚地域文化創造館において、都支部総会を開催した。参加者は15名。議長に松崎さんを選出し、来賓として松本会長を迎えご挨拶をいただいた。

2022年の都支部は、コロナ感染予防に留意しながらも関東ブロック合宿の開催や、観客を迎えての都支部コンサートなど、もとの活動を取り戻そうとしてきた。集会等ではマスクをしたままではあるが、日音協の旗を掲げ歌ってきた。各サークルや個人からはそれぞれに活動を広げている報告がされ、音楽祭に向け新たにエントリーを目指す発言もあった。

また、「思いを同じくする人が集まる集会だけでなく、街宣など、もっと外に歌をもって出て行こう」という支部長からの提起に続くように、自分たちの歌を広めるために集会時の演奏でも高い精度をめざすこと、会員同士の交流や高めあう場を設けたいなど、意欲的な発言が出された。運動方針・予算案共に承認され、ますます元気な活動と発展を確認しあった総会となった。

【役員(事務局)体制】

支部長/狭石啓子 副支部長/白石信吾 事務局長/森理子
事務局/岩藤範雄 広瀬芳弘 坂口美日 長島千代美 小林満 (森理子)

歌の力が物語るもの 115

築港坂つた行動 2/3 (466回) 報告 R.i.o.

【参加者】モリヤさん、はしゆきさん、イサさん、佐藤さん、達哉、森 計6名

さすがに寒い！2月です。

旗を立て、プラカードをクリップでフェンスに留めて行動開始。では『あたりまえの地球』から、『メッセーシ』の勢いで体をあたためて、楽譜を作りなおした『原発はいらない』を歌ってみる。早速記載ミスを発見。残念。直さなければ。

警察官がふたり、近くをずっとウロウロしている。声をかけてくるだろうかと思っていたら、『ああ福島』の途中で

水道橋だより

▼2面に「12年目の3・11に歌うNo Nukes Fukushima」のチラシを掲載しました。▼VJkin & 日音協福島県支部も出演します。茨城音楽祭に出演した「いなのとひら・のとこば」も演奏します。前日には、札幌音楽祭に出演した「朴保」ライブもあります。問い合わせ先は、坂口(副会長)となっていますので、カンパなどよろしくお願い致します。▼裏面を見ると演奏者のプロフィールが載っていました。「新月灯花」(池袋と福島を拠点に活動する、エレクトリック&アコースティックのWロック・サウンド。1967~73年のサイケデリックでフラワーなブリティッシュ・ロックが大好きな時代錯誤なバンドです。原発が嫌いな私達は、原発事故の翌月から毎月福島に通ってます。地元の子達とやっている自由参加型・駅前路上ライブ『福島ジャグル』をフェス化するのがバンドの夢です!)とのこと。▼確かに彼女たちのユーチューブを見ると、青森でいえば大間(あさこはうす)とか、祝島とか、…全国を歩いてる。いろんな人に励まされながら、活動を進めていきたい。(佐藤)

近寄ってきた。端にいたイサさんに声をかけている。質問はいつもと同じく、何をしているのか、何時までやるのかのこと。やっぱり看板を立てたほうが良いかもしれない。『つた行動 18時半~19時半』と書いた看板を。警察官は交代だし、申し送りも無さそう。『子どもらの明日のために』を歌った。『子ども明日の幸を祈り 原発やめろと歌う』、という行動ですよ。この警察官が、今回はしつこかった。声をかけてきた後、どこかと連絡をとり、また寄ってきた。「歌うのは構わないが、ここではなく国会前庭の方へ移動してください。」という。「なぜですか?」「官邸前でも抗議行動があるので。」「そちらとは関係ないです。私たちはずっとここでやっていて、何の問題もないです。」「いや、麹町署からそういう指示が...」。そこで久しぶりにモリヤさんが救援会のパンフを出し(印籠と呼んでいる)、宣伝行動の自由とその判例を警察官に示した。私も「今までも、麹町署に確認をとられたことは何回もある。そのたびに大丈夫だった。なぜ今日は違うのか。いままでと違う判断ならその根拠は何か。」と、穏やかに?食い下がった。そして再々確認をとった警察官が「大丈夫でした。」と報告してきた。要はどんな形でも『従わせ』たいのだからなと思う。しかし、「他の抗議行動もあるから」という理由は

斬新だったなあ。ちなみに、今日、官邸前では大きな行動は無かったはず。そんなやり取りを挟みながら歌い続ける。『そんな世界が一番』『明日を殺すな』『前へ』『私たちの暮らしては私たちが決める』『水に流すな』『ジュゴンがすむ海』...警察官のふたりは少し離れたものの、見えるところにずっといた。歌を聴いてるかな。『決意』を歌う。憲法の文言で作られたこの歌をうたうことが、抗議になるという不思議。私たちは法を守りたい。守らせたい。あなたたち警察は違うの? 気温は低いはずなのに、寒さは感じない。気合いを入れて歌っていたのだろうか。体があたたまってきている。『原子力発電NO!』を歌って今日の行動は終了した。

明日は立春。春よ、来い。福島に沖縄に、私たちに。



加本さん 森さん (2023 日音協セミナー)

どん行

(164) 飯島貞親

▼タレントのタモリ氏が「今年は新しい戦前になるのでは」と発言したことが話題を呼んでいる。日本が戦前と同じ道をたどろうとしているとの指摘に違いない▼1929年にニューヨーク株式市場の大暴落を契機に世界恐慌となり、その後は国家の工ゴがムキ出しになった経済体制に移行。日本は第1次大戦で主戦場にならなかつたことから戦争特需が舞い込み、1980年代のようなバブル景気と株高に沸いた。それまで株に縁のなかつた人も投資に手を染めた。だが、戦争が終わって、深刻な不況と長期デフレに突入。そこに関東大震災と世界恐慌が加わったことで、日本経済は壊滅的な打撃を受けた。国民は不安心理にさいなまれ、国粹主義や軍国主義が台頭。国債の日銀直接引き受けによる大規模な財政出動により激しいインフレが進み、第2次大戦終戦と同時に日本経済が破綻した▼防衛費増大、敵基地攻撃能力の保有などが国民の間に相当な危機感が膨らんでいる。日本を取り巻く世界情勢の変化、日本国内の政治の劣化、国民の声を聴かない政権と報道のあり方はやりきれない連続だ▼きな臭い政府の動きに対して安否法制の時のような反対表明が広がらない現状こそ、戦前そのものではないかと思えてならない。